

長与町の橋の今とこれから

特徴 1

架設年次が判明している橋梁においては、高度経済成長期以降に架設されている橋梁が多い。

特徴 2

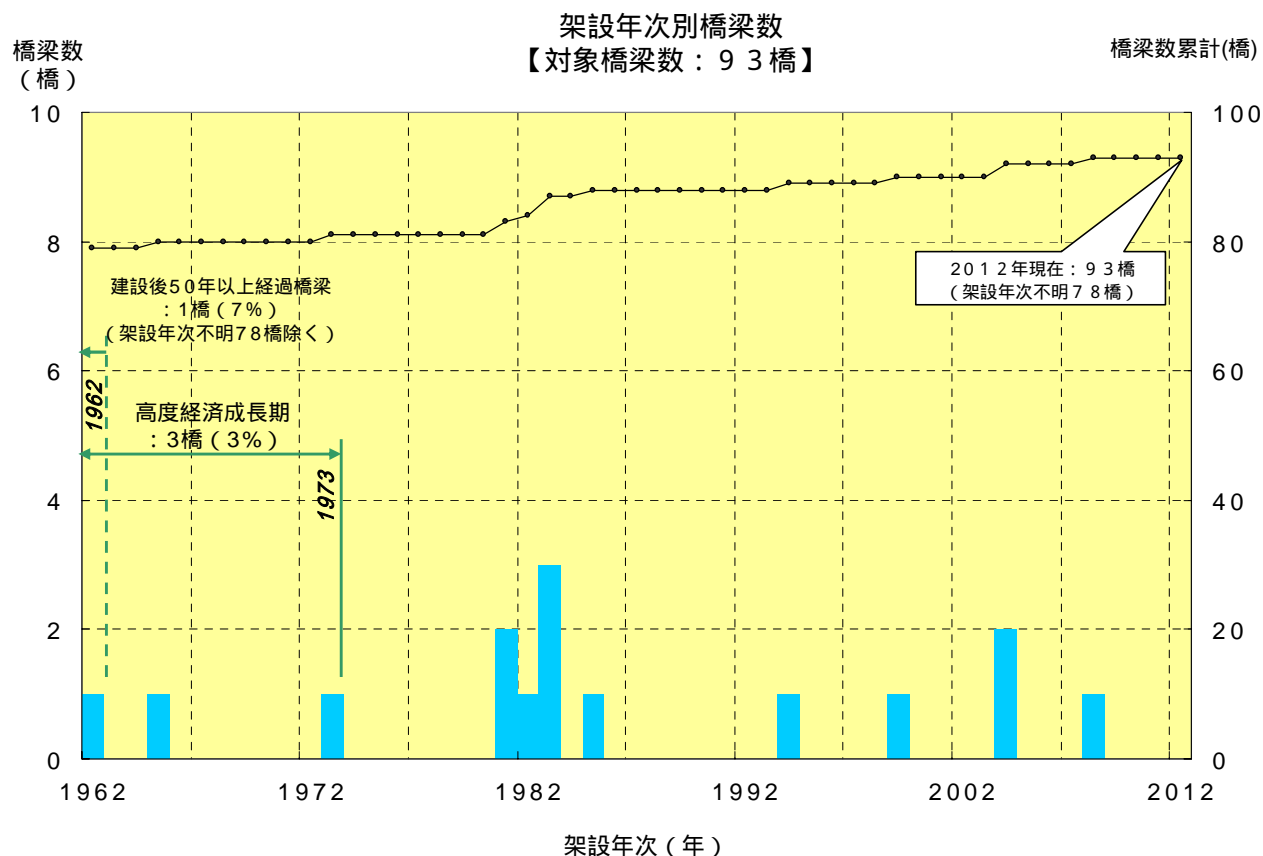
架設年次が不明の橋が78橋と多く、全体の約85%を占めている。

特徴 3

町の北部は大村湾に面しており、沿岸部では塩害を受けやすい。河川橋が比較的多く点在している。

海風の影響で橋が劣化しやすい

架設年次別橋梁数(橋長15m未満)



同一橋梁で橋種が異なるため、88橋を93橋として分析している

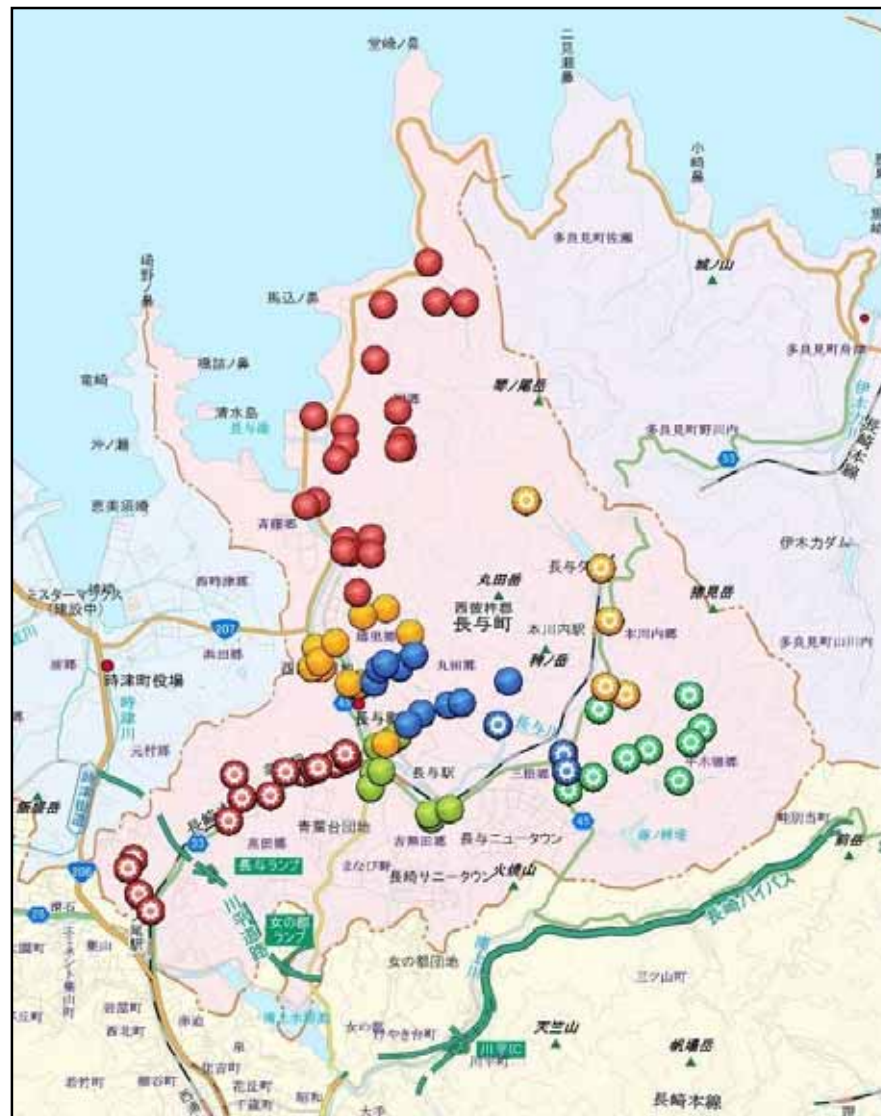
今後急速な補修補強費の増大が予想される！ ➡ 橋の状態を常に把握し、計画的に対策を施す必要がある。

長与町の橋の特徴

長与町は、県の西部にあり、大村湾の湾奥部に位置しています。

長寿命化修繕計画の対象となる橋梁は長与川流域を中心とし、町内に点在しています。事後保全的な修繕から予防保全的な修繕への転換を図るためにも、計画的な維持管理を行っていく必要があります。

- **【岡郷橋梁群】**
 ・開拓橋・尻無川橋など 21 / 88 橋)
- **【丸田郷橋梁群】**
 ・南田川内橋・高野橋など 11 / 88 橋)
- **【嬉里郷橋梁群】**
 ・嬉里谷橋・羽太橋など 13 / 88 橋)
- **【吉無田郷橋梁群】**
 ・辻平橋・崎ノ尾橋など 10 / 88 橋)
- ⊗ **【高田郷橋梁群】**
 ・東高田橋・丸尾橋など 15 / 88 橋)
- ⊗ **【三根郷橋梁群】**
 ・洗切橋・早田橋など 4 / 88 橋)
- ⊗ **【本川内郷橋梁群】**
 ・柿本橋・大越橋など 5 / 88 橋)
- ⊗ **【平木場郷橋梁群】**
 ・隠川内橋・尺郷1号橋 9 / 88 橋)



長与町の橋（計画策定対象）

平成24年度計画策定対象橋梁（15m未満：88橋）【1～76】

番号	橋梁名称	路線名称	橋長 (m)	架設年次 (年)	地区
1	開拓橋	一本松・琴ノ尾開拓線	7.0	不明	岡郷
2	尻無川橋	3工区19号線	3.0	不明	
3	水谷橋	佐敷川内線	2.6	不明	
4	坂口橋	佐敷川内線	2.4	不明	
5	佐敷1号橋	佐敷1号線	2.7	不明	
6	満永一本松1号橋	満永一本松線	3.1	不明	
7	満永一本松2号橋	満永一本松線	2.6	不明	
8	満永一本松3号橋	満永一本松線	4.6	不明	
9	満永一本松4号橋	満永一本松線	3.5	不明	
10	満永一本松5号橋	満永一本松線	6.2	不明	
11	満永一本松6号橋	満永一本松線	4.0	不明	
12	無名橋	白髭線	2.9	不明	丸田郷
13	一本松橋	一本松線	3.1	不明	
14	大堂川橋（上流側） 大堂川橋（下流側）	潮井崎線	6.5	不明	
15	一号橋	北部7号線	3.6	不明	
16	一号橋	北部8号線	4.5	不明	
17	佐敷川内橋	佐敷川内1号線	3.6	不明	
18	四釜橋	浜崎満永線	7.9	不明	
19	おこ川橋	浜崎満永線	6.8	1965	
20	満永川橋（上流側） 満永川橋（下流側）	浜崎満永線	4.2	不明	
21	無名橋	佐敷1号線	2.7	不明	
22	南田川内橋	南田川内線	5.0	不明	
23	高野橋	南田川内線	3.1	不明	
24	第2中尾橋	丸田中尾線	3.9	不明	
25	川添橋	川添線	4.1	不明	
26	苔木の迫橋	苔木ノ迫線	5.4	不明	
27	開平橋	南田川内・丸田線	4.0	不明	
28	村川橋	二反田線	3.6	不明	
29	丸田アパート1号橋	丸田アパート1号線	5.1	不明	
30	飯盛橋	丸田アパート2号線	4.0	1981	
31	陰平橋（中央部） 陰平橋（上・下流部）	丸田陰平線	2.4	不明	
32	鞍見橋	鞍見線	2.2	不明	嬭里郷
33	嬭里谷橋	嬭里谷・佐敷線	4.1	不明	
34	羽太橋	丸田谷線	3.3	不明	
35	1号橋	長与中央線	7.8	不明	
36	2号橋	長与中央線	4.2	不明	
37	長与中央橋	長与中央線	3.6	不明	

番号	橋梁名称	路線名称	橋長 (m)	架設年次 (年)	地区	
38	1号橋	2工区1号線	4.3	不明	嬭里郷	
39	2号橋	2工区2号線	4.2	不明		
40	眉岳橋	嬭里谷・丸田線	3.7	不明		
41	1号橋	二丁間1号線	3.7	不明		
42	2号橋	二丁間1号線	3.0	不明		
43	3号橋	二丁間2号線	3.6	不明		
44	4号橋	二丁間7号線	3.6	不明		
45	5号橋	二丁間9号線	3.0	不明		
46	1号橋	駅周辺2号線	2.2	不明		吉無田郷
47	辻平橋	辻平2号線	3.9	不明		
48	1号橋	駅周辺5号線	5.5	不明		
49	崎ノ尾橋	崎ノ尾団地1号線	4.6	不明		
50	1号橋	駅周辺6号線	5.5	不明		
51	中尾橋	駅前定林線	4.1	不明		
52	丸田橋	駅前定林線	4.3	1981		
53	八反田橋	1工区1号線	7.6	不明		
54	五反田橋	1工区3号線	9.7	1973		
55	崎ノ尾橋	崎ノ尾線	5.5	不明		
56	百合野橋（車道側） 百合野橋（歩道側）	百合野線	8.6	1962	高田郷	
57	東高田橋	東高田・三千隠線	12.0	1999		
58	丸尾橋	丸尾団地線	3.3	不明		
59	下高田1号橋	下高田線	4.5	不明		
60	下高田橋	下高田線	12.7	1985		
61	山留橋	天満宮・時津線	2.2	不明		
62	村田橋	崎田線	2.8	不明		
63	百合野2号橋	百合野口線	5.0	不明		
64	百合野3号橋	百合野第2団地1号線	3.0	不明		
65	山下橋	榎ノ鼻杉ノ本線	12.9	不明		
66	高田人道橋	西高田人道橋線	10.9	不明		三根郷
67	二本木1号橋	さくら通り線	4.3	不明		
68	二本木2号橋	さくら通り線	5.0	不明		
69	宮下橋	宮下線	12.3	2004		
70	さくら橋	さくら通り線	12.0	1994		
71	洗切橋	平木場線	14.2	1983		
72	早田橋	三根公民館線	12.9	1983		
73	田代橋	田代線	10.4	不明		
74	1号橋	緑ヶ丘5号線	12.0	不明		
75	柿本橋	本川内・佐敷線	4.3	不明	本川内郷	
76	大越橋	大越線	12.8	不明		

橋の健康状態を知るために

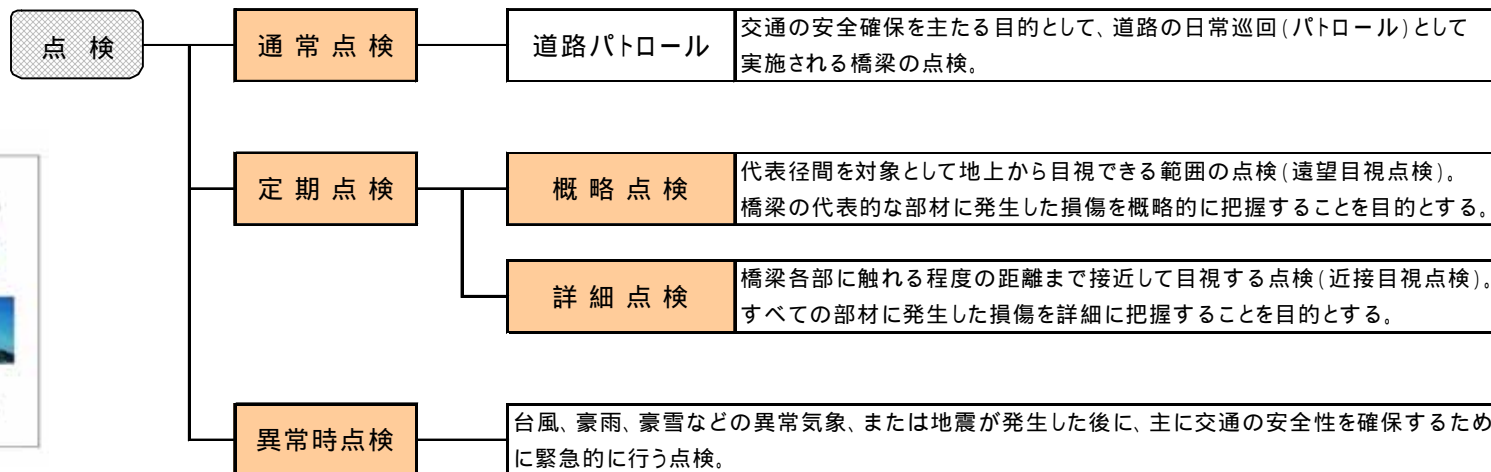


効率的に橋梁の健康状態を調査

長崎県は、橋の点検を、効率的かつ低価に実施することができるように、橋梁点検マニュアルを整備し、橋梁点検支援システムを構築しました。また、点検の体系についても確立しています。

長与町においても、長崎県により整備されている橋梁点検マニュアルを利用して概略点検を行うことにより、管理している橋の健康状態を効率的に把握することができました。

今後も定期的に点検を実施し、橋の健康状態を常に把握し、適切な維持管理を実施していきます。



橋の寿命を延ばすために

橋は市民の大切な財産です 次の取り組みにより橋の寿命を延ばして財産を守ります

- ・ 橋梁点検結果により、架替え検討もしくは修繕が必要と判断した橋については、**今後10年以内**で対策を実施します。
- ・ 他の橋についても定期的な点検及び早期の修繕に取り組み、橋を長持ちさせます。 **予防保全型への転換**を図ります。
- ・ 定期的に点検を実施し、橋の健康状態を常に把握します。
- ・ 財政状況を考慮した対策を実施し、**効率的な維持管理を実行**します。

今後の点検・修繕計画（平成24年度計画策定対象橋梁数：88橋）

	単位	H25 計画	H26 計画	H27 計画	H28 計画	H29 計画	H30 計画	H31 計画	H32 計画	H33 計画	H34 計画	合計
点検計画 橋梁数	橋	0	8	8	0	20	26	31	0	0	8	101*
修繕計画 橋梁数	橋	0	0	8	8	0	0	0	0	0	0	16

* 点検計画橋梁数の合計については複数回点検を実施する橋梁があるため、対象橋梁数とは異なる。

橋の健全性を向上させ、安全で安心な橋を保ちます。

長崎県市町橋梁長寿命化検討委員会

本委員会では、橋梁長寿命化修繕計画の策定にあたり、学識経験者等の意見を聴取し、計画に反映させております（平成25年3月開催）。

委員会における議事内容の抜粋

損傷事例として挙げられている尺郷1号橋は、支承などの腐食が進んでいる。補修するにあたっては支承の取替えなどが想定されるが、雨水などの処理を適確に行う必要がある、との有識者の助言を得た。

最近、公共構造物についての長寿命化や維持・修繕などへの関心が非常に高まっている。各市町村でも、長寿命化修繕計画を進めておられるが、今後は補修だけでなく、点検をどうやって行っていくかが課題となる。

県では、職員とOBで点検してある程度人員に余裕があるが、県下全域の修繕計画がうまくいくように協力し合って推し進めていく旨の、県の方針が示された。

長崎県内の市町村での橋梁長寿命化修繕計画の実績は、全国でもトップクラスである。これは、県の指導の下、県版のアセットマネジメントシステムを活用できるためである。

大学を含めて、本日この委員会に集まっておられる方々は、同業者といえる。大学には各分野の専門のスタッフもあり、常に門戸を開いているので、県を通じて気軽に相談に来てもらいたいと、大学から委員会における関わり方が示された。



長崎県下各市町が「橋梁の定期的な補修によるコスト縮減効果」と「橋梁の健全性の維持」の両方について考慮して維持管理に取り組むことが必要です。
市民の視点に立って、安全安心ということを念頭に置いておくことが重要です。

橋の長寿命化修繕計画

今回、対象となった15m未満の88橋について長寿命化修繕計画を策定しました。

点検によって捉えた劣化損傷に対して、修繕が必要な橋から早めの対応を行うことにより予防保全型へと移行し、安全性を高めるとともに、将来にわたって維持修繕にかかるコスト縮減を図ります。

今回は15m未満の88橋についての計画を策定しましたが、今後はこの長寿命化修繕計画に則って管理を進めてまいります。

長寿命化修繕計画の実施方針

点検結果より修繕が必要と判断された橋は、**今後10年以内**に対策を完了し、維持管理水準を高めます。

長寿命化修繕計画策定後は、橋の維持管理を**予防保全型**へと移行し、**安全性の確保**と**コストの縮減**を図ります。

今後は定期的に点検を実施し、必要に応じて計画の見直しを行います。

修繕にあたっては予算の平準化を図りながら、計画的に実施します。

長与町の橋の今とこれから

特徴1

現在、架設から50年以上経過している橋はありません（橋長15m以上の16橋に対して）。

新しい橋が多い

特徴2

これから20年間で**急速に老朽化**していく橋が増えます。

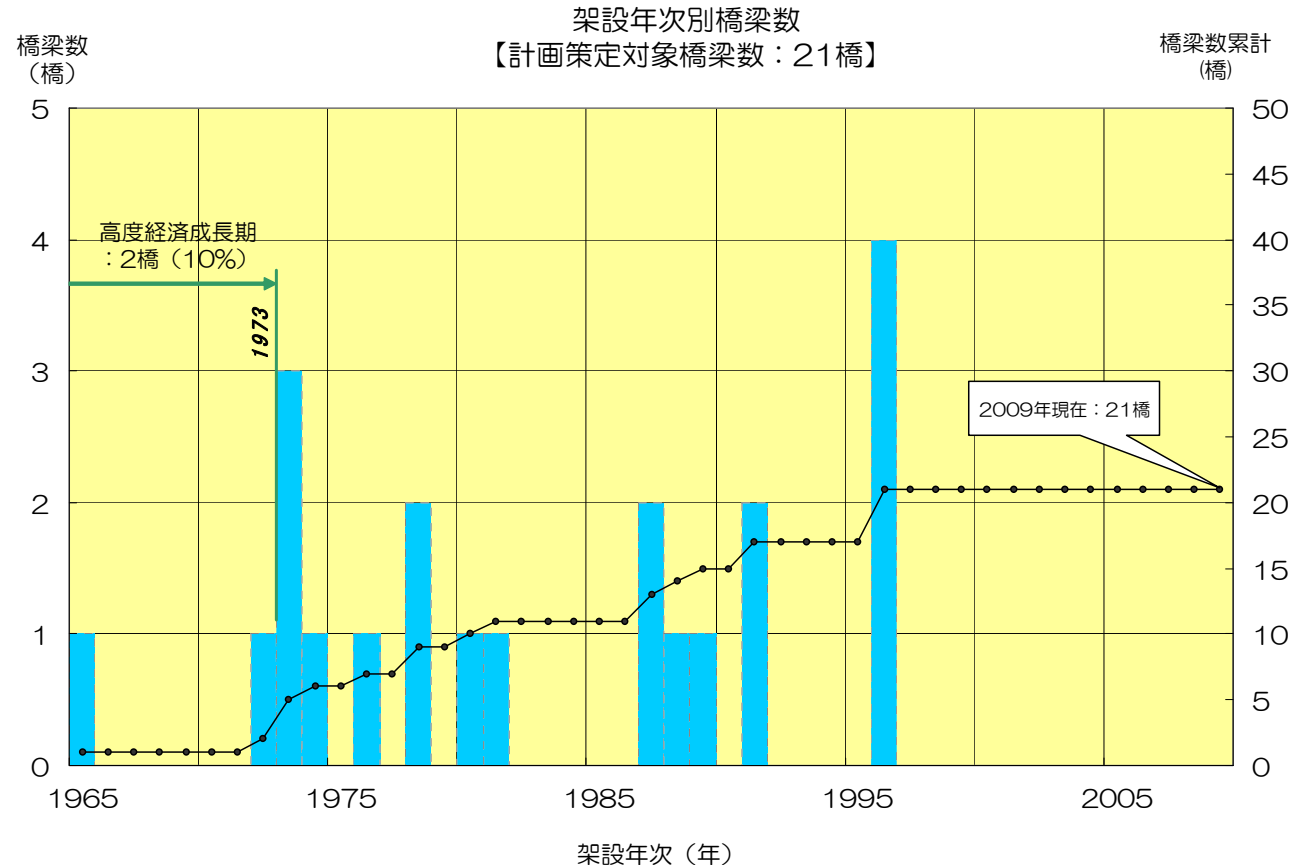
特徴3

長与川の下流域は、大村湾からの北風により塩害を受けやすい環境にあります。

海風の影響で橋が劣化しやすい

今後急速な補修補強費の増大が予想される！ ➡ 橋の状態を常に把握し、計画的に対策を施す必要がある。

架設年次別橋梁数(橋長15m以上)



※同一橋梁で構造形式が異なり複数の橋梁と見なしているものがあるため、16橋を21橋として分析しています。

長与町の橋の特徴

長与町の特徴である河川橋

長与町には、町の中心部を流れる長与川を中心に、河川橋が多く位置しています。事後保全的な修繕から予防保全的な修繕への転換を図るためにも、計画的な維持管理を行っていく必要があります。

計画策定対象橋梁（橋長15m以上）

番号	橋梁名称	路線名称	橋長(m)	架設年次(年)
1	榎ノ鼻橋	吉無田・南田川内線	36.0	1976
2	定林橋	嬉里谷・佐敷線	39.6	1972
3	三根大橋	南田川内・三根線	168.2	1996
4	本川内橋	本川内・佐敷線	68.5	1980
5	皆前橋	丸田谷線	38.0	1973
6	横道橋	横道線	19.2	1996
7	三根橋	三根三反田線	19.4	1987
8	三反田橋	三根三反田線	19.0	1988
9	千石浏橋	帯田平線	19.1	1989
10	新吉無田橋	長与中央線	48.0	1991
11	駅前橋	駅前定林線	26.4	1987
12	浦上口橋	浦上口線	28.4	1974
13	杉ノ本橋	榎ノ鼻杉ノ本線	15.2	1981
14	皆前人道橋	1工区10号線	35.2	1973
15	三彩橋	嬉里線	47.8	1978
16	新浦橋	新浦線	43.0	1965



橋の健康状態を知るために

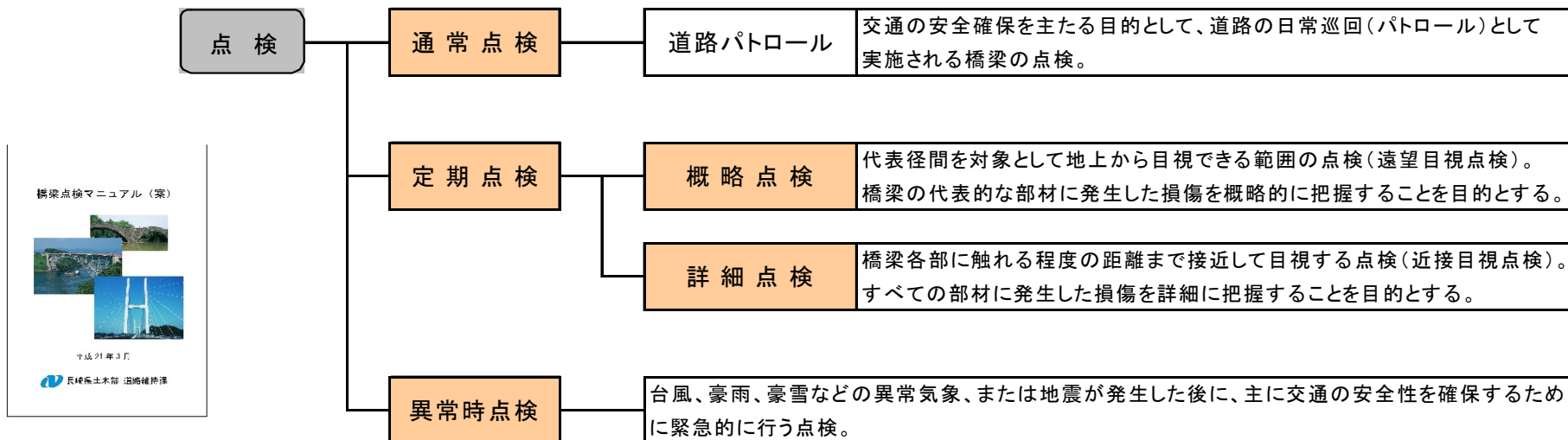


効率的に橋梁の健康状態を調査

長崎県は、橋の点検を、効率的かつ低価に実施することができるように、橋梁点検マニュアルを整備し、橋梁点検支援システムを構築しました。また、点検の体系についても確立しています。

長与町においても、長崎県により整備されている橋梁点検マニュアルを利用して概略点検を行うことにより、管理している橋の健康状態を効率的に把握することができました。

今後も定期的に点検を実施し、橋の健康状態を常に把握し、適切な維持管理を実施していきます。



橋の寿命を延ばすために

橋は市民の大切な財産です ⇒ 次の取り組みにより橋の寿命を延ばして財産を守ります

- ・ 橋梁点検結果により、架替え検討もしくは修繕が必要と判断した橋は5橋ありました。

これらの橋については、**今後10年以内**で対策を実施します。

- ・ 他の橋についても定期的な点検及び早期の修繕に取り組み、橋を長持ちさせます。 → **予防保全型への転換**を図ります。
- ・ 定期的に点検を実施し、橋の健康状態を常に把握します。
- ・ 財政状況を考慮した対策を実施し、**効率的な維持管理**を実行します。

今後10年間の計画

	単位	H22 計画	H23 計画	H24 計画	H25 計画	H26 計画	H27 計画	H28 計画	H29 計画	H30 計画	H31 計画	合計
点検計画 橋梁数	橋	0	1	0	4	3	4	4	0	0	0	16
修繕計画 橋梁数	橋	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	5
修繕・架替え 事業費	百万円	0	0	16.5	16.4	11.9	—	—	—	—	—	44.8

橋の健全性を向上させ、安全で安心な橋を保ちます。

長崎県市町橋梁長寿命化検討委員会

本委員会では、橋梁長寿命化修繕計画の策定にあたり、学識経験者等の意見を聴取し、計画に反映させており、計2回（平成22年2月～平成22年3月）開催しています。

委員会における議事内容の抜粋

- ◆橋梁のあり方を考える場合、安全性、耐久性、使用性（日常的に使用するのに支障がないか）を考える必要があります。
- ◆新浦橋については、橋梁の補修を実施すると同時に、使用性の面から判断して防護柵についても補修を行う必要があります。
- ◆まだ使用可能な橋梁については補修等を実施し、補修不可能な場合のみ架替えを行うという考え方に変える必要があります。
- ◆架替えの決定については、その実施までの期間に予想される損傷の進行等を考慮し、補修と架替えの両面から十分に検討する必要があります。



- ◆長崎県下各市町が「橋梁の定期的な補修によるコスト縮減効果」と「橋梁の健全性の維持」の両方について考慮することが必要です。
- ◆町民・市民の視点に立って、安全安心ということを念頭に置いておくことが重要です。

橋の長寿命化修繕計画

今回、対象となった15m以上の16橋について長寿命化修繕計画を策定しました。

点検によって捉えた劣化損傷に対して、修繕が必要な橋から早めの対応を行うことにより予防保全型へと移行し、安全性を高めるとともに、将来にわたって維持修繕にかかるコスト縮減を図ります。

今回は15m以上の16橋について計画を策定しましたが、今後は15m未満を含めた残りの橋についても長寿命化修繕計画を策定する予定です。

長寿命化修繕計画の実施方針

- ◆点検結果より修繕が必要と判断された橋は、**今後10年以内**に対策を完了し、維持管理水準を高めます。
- ◆長寿命化修繕計画策定後は、橋の維持管理を**予防保全型**へと移行し、**安全性の確保**と**コストの縮減**を図ります。
- ◆今後は定期的に点検を実施し、必要に応じて計画の見直しを行います。
- ◆修繕にあたっては予算の平準化を図りながら、計画的に実施します。